NEC Express5800シリーズ
Express5800/i110Ra-1h

3

システム設定の変更

マザーボードの入力システムの設定方法について説明します。

本装置を導入したときやオプションの増設/取り外しをするときはここで説明する内容をよく理解して、正しく設定してください。

BIOSのセットアップ（30ページ）

本装置の基本入出力システムのセットアップをするためのユーティリティ「SETUP」の使用方法と各種パラメータについて説明します。また、内蔵のCMOSに保存されたSETUPの設定値をクリアするジャンパピンの設定についても併せて説明します。

割り込みライン（55ページ）

マザーボードの割り込みの設定について説明しています。

BIOSのセットアップ

Basic Input Output System（BIOS）の設定方法について説明します。

本装置を導入したときやオプションの増設/取り外しをするときはここで説明する内容をよく理解して、正しく設定してください。

システムBIOS （SETUP）

SETUPはハードウェアの基本設定をするためのユーティリティツールです。このユーティリティは本体内のフラッシュメモリに標準でインストールされているため、専用のユーティリティなどがなくても実行できます。

SETUPで設定される内容は、出荷時に最も標準で最適な状態に設定していますのでほとんどの場合においてSETUPを使用する必要はありませんが、この後に説明するような場合など必要に応じて使用してください。

重要

- **SETUPの操作は、システム管理者（アドミニストレータ）が行ってください。**
- **SETUPでは、パスワードを設定することができます。パスワードには、「Supervisor」と「User」の2つのレベルがあります。「Supervisor」レベルのパスワードでSETUPにアクセスした場合、すべての項目の変更ができます。「Supervisor」のパスワードが設定されている場合、「User」レベルのパスワードでは、設定内容を変更できる項目が限られます。**
- **OS（オペレーティングシステム）をインストールする前にパスワードを設定しないでください。**
- **SETUPユーティリティは、最新のバージョンがインストールされています。このため設定画面が本書で説明している内容と異なる場合があります。設定項目については、オンラインヘルプを参照するか、保守サービス会社に問い合わせてください。**
- **SETUP起動した時にはExitメニューまたは<Esc>、<F10>キーで必ず終了してください。SETUPを起動した状態でパワーオフ、リセットを行った場合にはSETUPの設定が正しく更新されないことがあります。**

起　動

本体の電源をONにするとディスプレイ装置の画面に「NEC」ロゴと次のメッセージが画面下に表示されます。

```
Press TAB to show POST screen, F1 to enter SETUP,
<F12> to enter Boot Menu
```

〈TAB〉キーを押すと、POST(Power On Self-Test)の実行内容が表示されます。
ここで<F 1>キーを押すと、SETUPが起動してMainメニュー画面を表示します。

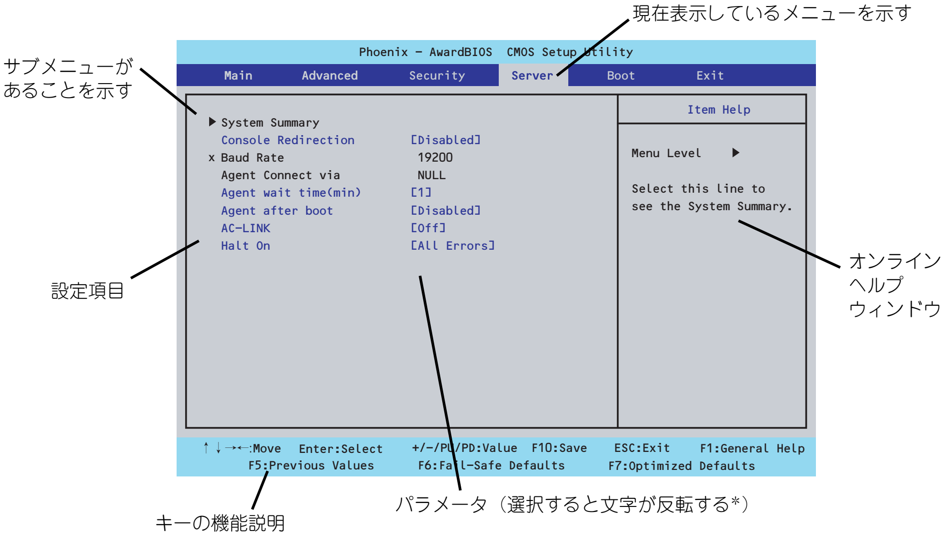
以前にSETUPを起動してパスワードを設定している場合は、パスワードを入力する画面が表示されます。パスワードを入力してください。

```
Enter password[                              ]
```

> ヒント
>
> パスワードには、「Supervisor」と「User」の2種類のパスワードがあります。「Supervisor」では、SETUPでのすべての設定の状態を確認したり、それらを変更したりすることができます。「User」では、確認できる設定や、変更できる設定に制限があります。

キーと画面の説明

キーボード上の次のキーを使ってSETUPを操作します（キーの機能については、画面下にも表示されています)。



＊ 自動的にコンフィグレーションされたものや検出されたもの、情報の表示のみやパスワードの設定により変更が許可されていない項目はグレーアウトされた表示になります。

□ カーソルキー（↑、↓）
画面に表示されている項目を選択します。文字の表示が反転している項目が現在選択されています。

□ カーソルキー（←、→）
MainやAdvanced、Security、Server、Boot、Exitなどのメニューを選択します。

□ <−>キー／<+>キー
選択している項目の値（パラメータ）を変更します。サブメニュー（項目の前に「▶」がついているもの）を選択している場合、このキーは無効です。

□ <Enter>キー
選択したパラメータの決定を行うときに押します。

□ <Esc>キー
ひとつ前の画面に戻ります。

□ <F7>キー
現在表示している項目のパラメータをデフォルトのパラメータに戻します（出荷時のパラメータと異なる場合があります)。

□ <F10>キー
SETUPの設定内容を保存し、SETUPを終了します。

設定例

次にソフトウェアと連携した機能や、システムとして運用するときに必要となる機能の設定例を示します。

日付・時刻関連

「Main」→「Time」、「Date」

UPS関連

UPSと電源連動させる

— UPSから電源が供給されたら常に電源をONさせる
「Server」→「AC-Link」→「On」

— POWERスイッチを使ってOFFにしたときは、UPSから電源が供給されても電源をOFFのままにする
「Server」→「AC-Link」→「Former-Sts」

— UPSから電源が供給されても電源をOFFのままにする
「Server」→「AC-Link」→「Off」

起動関連

本体に接続している起動デバイスの順番を変える

「Boot」→起動順序を設定する

リモートウェイクアップ機能を利用する

LANから：　「Advanced」→「Power Management Setup」→「Wake Up On LAN 」→「Enabled」

PCIデバイスから：　「Advanced」→「Power Management Setup」→「Wake Up On LAN 」→「Enabled」

RTCのアラームから：　設定は必要ありません

HWコンソール端末から制御する

「Server」→「Console Redirection」→それぞれの設定をする

キーボード関連

Numlockを設定する

「Advanced」→「Boot Up NumLock States」/「On」(有効)(default)/「Off」(無効)

セキュリティ関連

BIOSレベルでのパスワードを設定する

「Security」→「Set Supervisor Password」→ パスワードを入力する
管理者パスワード（Supervisor）、ユーザーパスワード（User）の順に設定します

内蔵デバイス関連

本装置内蔵のPCIデバイスに対する設定をする

「Advanced」→「Integrated Peripherals」→ それぞれのデバイスに対して設定をする

PCIボードが持つオプションROMの展開を許可する

「Advanced」→「Integrated Peripherals」→「Onboard Device」→「PCI Slot Device」→「Option ROM Control」→デバイスに対して設定をする

設定内容のセーブ関連

BIOSの設定内容を保存する

「Exit」→「Save & Exit Setup」

変更したBIOSの設定を破棄する

「Exit」→「Exit Without Saving」

BIOSの設定をデフォルトの設定に戻す（出荷時の設定とは異なる場合があります）

「Exit」→「Load Optimized Defaults」

パラメータと説明

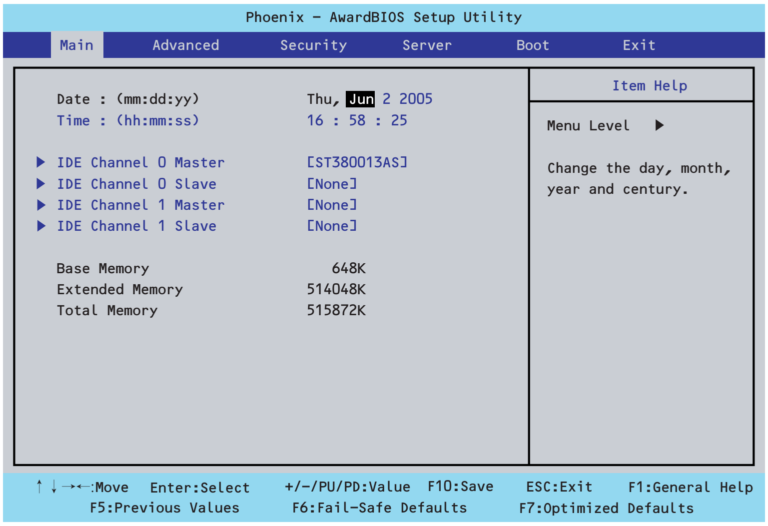
SETUPには大きく6種類のメニューがあります。

- **Mainメニュー**
- **Advancedメニュー**
- **Securityメニュー**
- **Serverメニュー**
- **Bootメニュー**
- **Exitメニュー**

このメニューの中からサブメニューを選択することによって、さらに詳細な機能の設定ができます。次に画面に表示されるメニュー別に設定できる機能やパラメータ、出荷時の設定を説明をします。

Main

SETUPを起動すると、はじめにMainメニューが表示されます。項目の前に「▶ 」がついているメニューは、選択して<Enter>キーを押すとサブメニューが表示されます。



Mainメニューの画面上で設定できる項目とその機能を示します。

項　目	パラメータ	説　明
Date	mm/dd/yy	日付の設定をします。
Time	hh/mm/ss	時刻の設定をします。
IDE Channel 0 Master IDE Channel 0 Slave IDE Channel 1 Master IDE Channel 1 Slave	—	それぞれのチャネルに接続されているデバイスの情報をサブメニューで表示します。一部設定を変更できる項目がありますが、出荷時の設定のままにしておいてください。
Base Memory	—	基本メモリの総容量を表示します（表示のみ）。
Extended Memory	—	拡張メモリの容量を表示します（表示のみ）。
Total Memory	—	実装しているメモリの容量を表示します（表示のみ）。

[　]: 出荷時の設定

重要

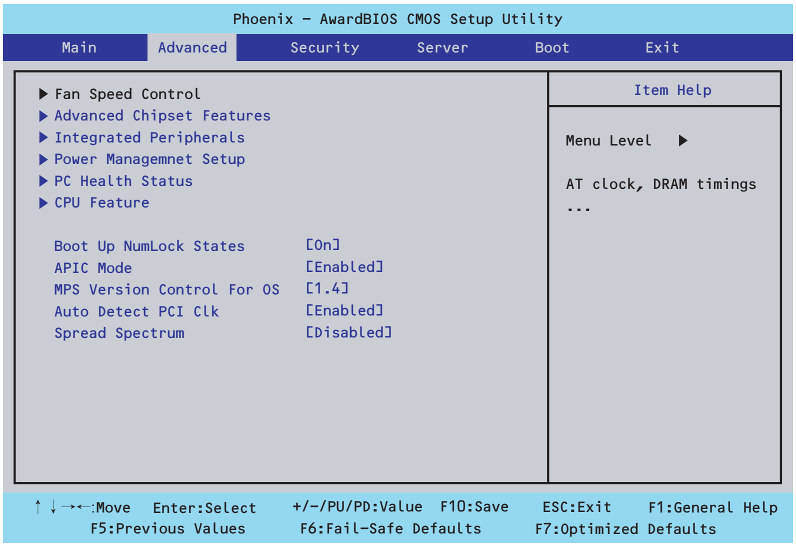
BIOSのパラメータで時刻や日付の設定が正しく設定されているか必ず確認してください。次の条件に当てはまる場合は、運用の前にシステム時計の確認・調整をしてください。

- **装置の輸送後**
- **装置の保管後**
- **装置の動作を保証する環境条件（温度：10℃～35℃・湿度：20%～80%）から外れた条件下で休止状態にした後**

システム時計は毎月1回程度の割合で確認してください。また、高い時刻の精度を要求するようなシステムに組み込む場合は、タイムサーバ（NTPサーバ）などを利用して運用することをお勧めします。
システム時計を調整しても時間の経過と共に著しい遅れや進みが生じる場合は、お買い求めの販売店、または保守サービス会社に保守を依頼してください。

Advanced

カーソルを「Advanced」の位置に移動させると、Advancedメニューが表示されます。
項目の前に「▶」がついているメニューは、選択して<Enter>キーを押すとサブメニューが表示されます。



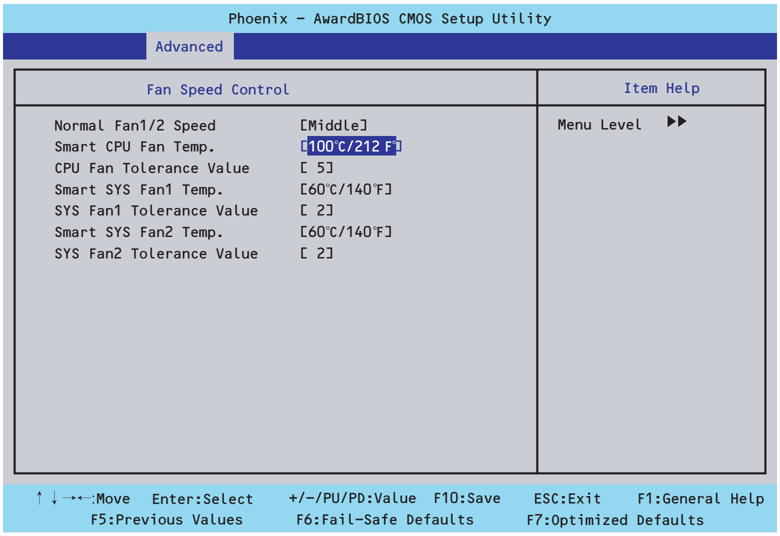
項目については次の表を参照してください。

項　目	パラメータ	説　明
Fan Speed Control	―	サブメニューを表示します。
Advanced Chipset Features	―	サブメニューを表示します。
Integrated Peripherals	―	サブメニューを表示します。
Power Management Setup	―	サブメニューを表示します。
PC Health Status	―	サブメニューを表示します。
CPU Feature	―	サブメニューを表示します。
Boot Up NumLock Status	Off [On]	システム起動時にNumlockの有効/無効を設定します。
APIC Mode	Disabled [Enabled]	この項目の設定は変更しないでください。
MPS Version Control For OS	1.1 [1.4]	この項目の設定は変更しないでください。
Auto Detect PCI Clk	[Enabled] Disabled	この項目の設定は変更しないでください。
Spread Spectrum	[Disabled] Enabled	この項目の設定は変更しないでください。

[　]: 出荷時の設定

Fan Speed Controlサブメニュー

Advancedメニューで「Fan Speed Control」を選択すると、以下の画面が表示されます。



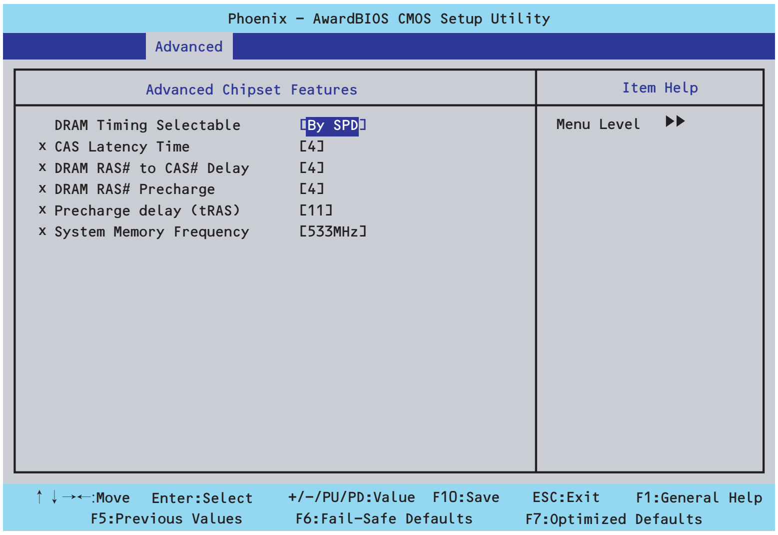
項目については次の表を参照してください。

項　目	パラメータ	説　明
Normal Fan1/2 Speed	[Middle] Low	SYS Fan1/2の通常時の回転数を設定します。
Smart CPU Fan Temp.	Disabled 90℃/194° F 95℃/203° F [100℃/212° F]	CPU温度が設定値以下の場合にCPU FANの回転数を低速に設定します。 「Disabled」を選択すると常にCPU FANが最高速で回転します。
CPU Fan Tolerance Value	Min 1 Max 5 Key in a DEC number:[5]	この項目の設定は変更しないでください。
Smart SYS Fan1 Temp.	Disabled 50℃/122° F 55℃/131° F [60℃/140° F]	システム温度が設定値以下の場合にSYS FAN1の回転数を低速に設定します。 「Disabled」を選択すると常にSYS FAN1が最高速で回転します。
SYS Fan1 Tolerance Value	Min 1 Max 5 Key in a DEC number:[2]	この項目の設定は変更しないでください。
Smart SYS Fan2 Temp.	Disabled 50℃/122° F 55℃/131° F [60℃/140° F]	システム温度が設定値以下の場合にSYS FAN2の回転数を低速に設定します。 「Disabled」を選択すると常にSYS FAN2が最高速で回転します。
SYS Fan2 Tolerance Value	Min 1 Max 5 Key in a DEC number:[2]	この項目の設定は変更しないでください。

[　]: 出荷時の設定

Advanced Chipset Featuresサブメニュー

Advancedメニューで「Advanced Chipset Features」を選択すると、以下の画面が表示されます。



項目については次の表を参照してください。

項　目	パラメータ	説　明
DRAM Timing Selectable	Manual [By SPD]	DRAMの信号タイミングをDRAMのスピードを参照して決めるか、マニュアルで決めるかを設定します。設定を変更しないでください。
CAS Latency Time	5 4 3 Auto	表示のみ。
DRAM RAS# to CAS# Delay	2 3 4 5 Auto	表示のみ。
DRAM RAS# Precharge	2 3 4 5 Auto	表示のみ。

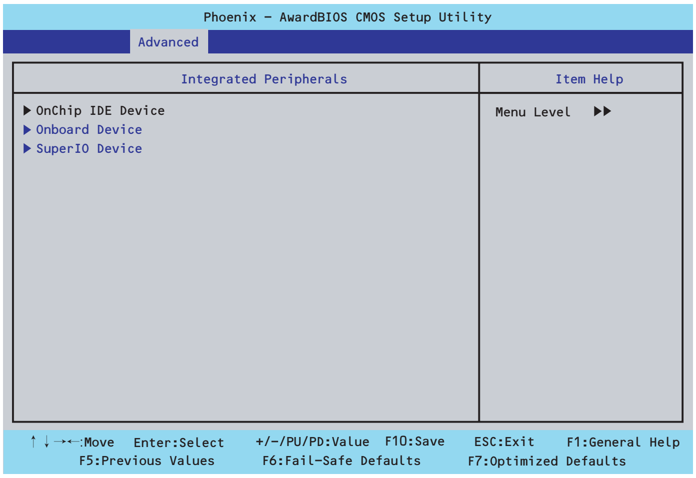
[　]: 出荷時の設定

項　目	パラメータ	説　明
Precharge delay (tRAS)	Auto 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	表示のみ。
System Memory Frequency	Auto 333MHz 400MHz 533MHz	表示のみ。

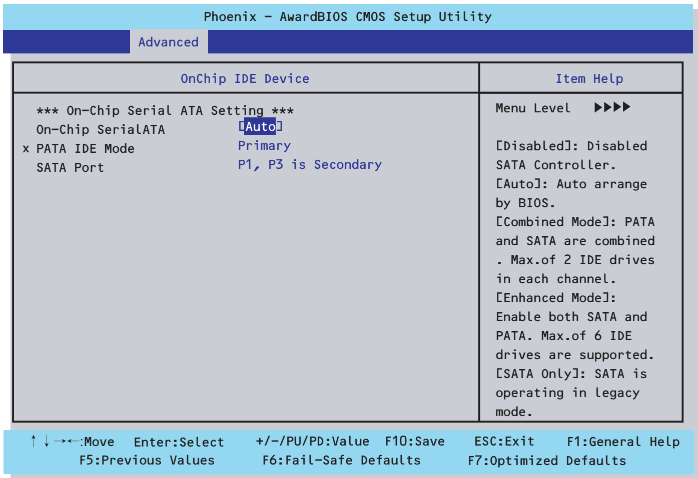
［　］: 出荷時の設定

Integrated Peripheralsサブメニュー

Advancedメニューで「Integrated Peripherals」を選択すると、以下の画面が表示されます。項目の前に「▶」がついているメニューは、選択して<Enter>キーを押すとサブメニューが表示されます。



Advanced - Integrated Peripheralsメニューで「OnChip IDE Device」を選択すると以下の画面が表示されます。

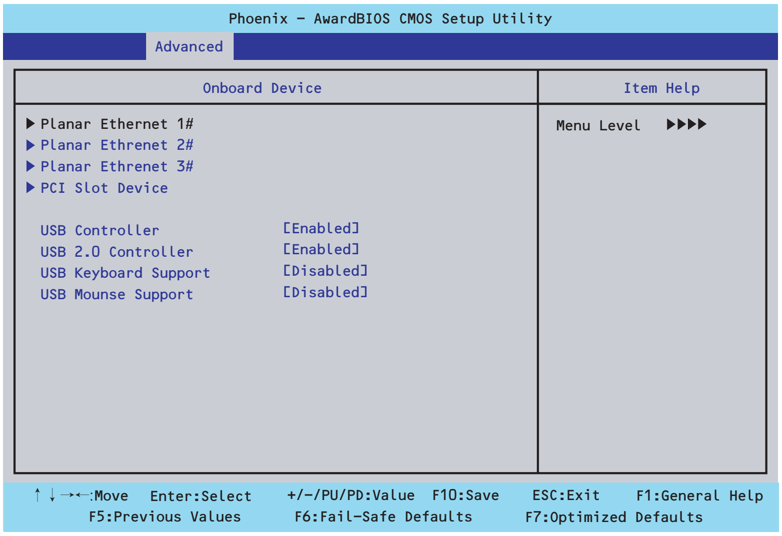


項目については次の表を参照してください。

項　目	パラメータ	説　明
On-Chip Serial ATA	Disabled [Auto] Combined Mode Enhanced Mode SATA Only	SATAコントローラのモードを設定します。
PATA IDE Mode	[Primary] Secondary	Combined Mode設定時、PATAコントローラの設定を変更します。
SATA Port	[P1, P3 is Secondary] P0, P2 is Primary	表示のみ

[　]: 出荷時の設定

Advanced - Integrated Peripheralsメニューで「Onboard Device」を選択すると以下の画面が表示されます。

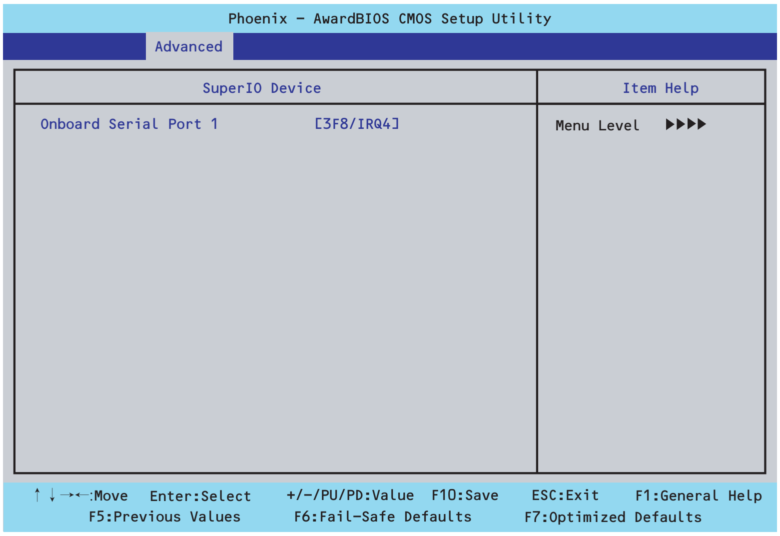


項目については次の表を参照してください。

項　目	パラメータ	説　明
Planar Ethernet 1#	—	Planar Ethernet 1-3およびPCI Slot Deviceについては、それぞれの項目でコントローラおよびOption ROM展開についてEnabled（Default）/Disabledの設定ができます。
Planar Ethernet 2#	—	
Planar Ethernet 3#	—	
PCI Slot Device	—	
USB Controller	[Enabled] Disabled	オンボードUSBコントローラの有効/無効を設定します。この項目の設定は変更しないでください。
USB 2.0 Controller	[Enabled] Disabled	オンボードUSBコントローラでUSB2.0をサポートさせるかどうかを設定します。この項目の設定は変更しないでください。
USB Keyboard Support	Enabled [Disabled]	USBを正式にサポートしていないOSでもUSBキーボードを使用できるようにするかどうかを設定します。この項目の設定は変更しないでください。
USB Mouse Support	Enabled [Disabled]	USBを正式にサポートしていないOSでもUSBマウスを使用できるようにするかどうかを設定します。この項目の設定は変更しないでください。

[　]: 出荷時の設定

Advanced - Integrated Peripherals メニューで「SuperIO Device」を選択すると以下の画面が表示されます。



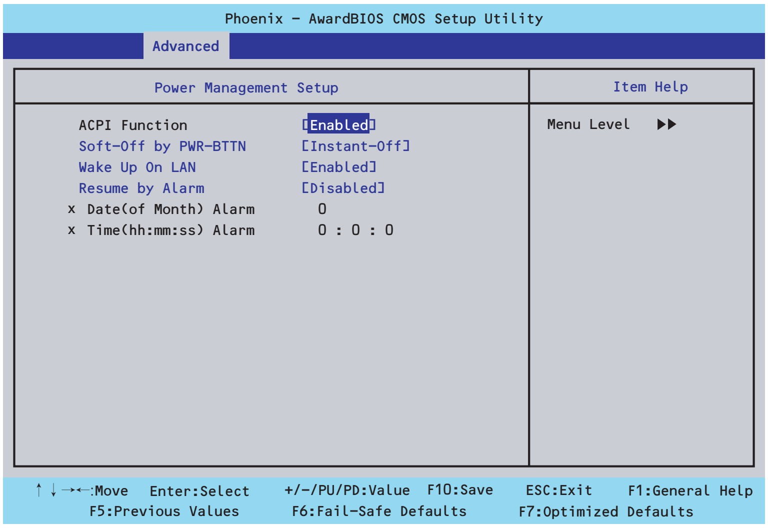
項目については次の表を参照してください。

項　目	パラメータ	説　明
Onboard Serial Port 1	Disabled [3F8/IRQ4] 2F8/IRQ3 3E8/IRQ4 2E8/IRQ3 Auto	シリアルポート1（COM 1）ベースアドレスを設定します。

［　］: 出荷時の設定

Power Management Setupサブメニュー

Advancedメニューで「Power Management Setup」を選択すると、以下の画面が表示されます。



項目については次の表を参照してください。

重要

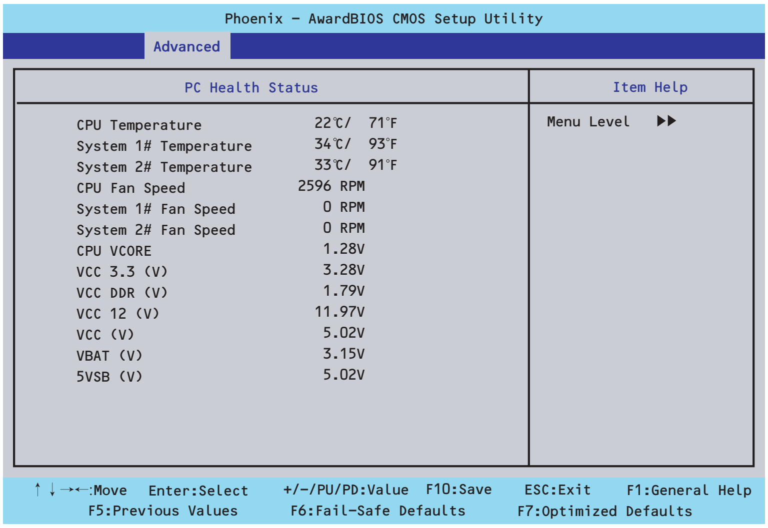
割り込みベースI/Oアドレスが他と重複しないように注意してください。設定した値が他のリソースで使用されている場合は黄色の「＊」が表示されます。黄色の「＊」が表示されている項目は設定し直してください。

項　目	パラメータ	説　明
ACPI Function	[Enabled] Disabled	ACPI機能のサポートを設定します。デフォルトの「Enabled」から変更しないでください。
Soft-Off by PWR-BTTN	[Instant-Off] Delay 4 Sec.	電源ボタンの設定をします。デフォルトの「Instant-Off」から変更しないでください。
Wake Up On LAN	[Enabled] Disabled	PCIカードによるWake機能のサポートを設定します。
Resume by Alarm	Enabled [Disabled]	設定した日時と時刻でシステムをソフトオフの状態から復帰させることができます。
Date(of Mouth) Alarm	x	Resume by AlarmをEnabledに設定した場合の日付を設定します。
Tiime(hh:mm:ss) Alarm	xx:xx:xx	Resume by AlarmをEnabledに設定した場合の時間を設定します。

[　]: 出荷時の設定

PC Health Statusサブメニュー

Advancedメニューで「PC Health Status」を選択すると、以下の画面が表示されます。
（このメニューは表示のみで変更できません）

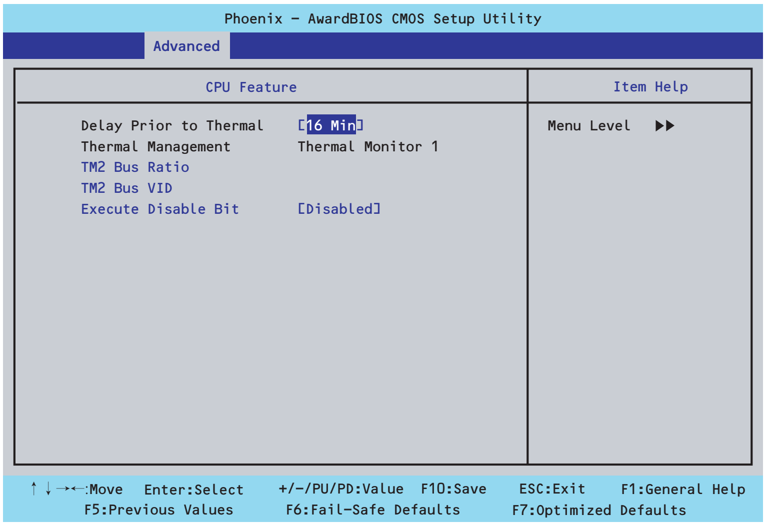


項目については次の表を参照してください。

項　目	パラメータ	説　明
CPU Temperature	—	CPUの温度を表示します。
System 1# Temperature	—	装置内の温度を表示します。
System 2# Temperature	—	
CPU Fan Speed	—	CPUファンのスピードを表示します。
System 1# Fan Speed	—	システムファンのスピードを表示します。
System 2# Fan Speed	—	
CPU VCORE	—	各種電圧を表示します。
VCC 3.3 (V)	—	
VCC DDR (V)	—	
VCC 12 (V)	—	
VCC (V)	—	
VBAT (V)	—	
5VSB (V)	—	

CPU Featureサブメニュー

Advancedメニューで「CPU Feature」を選択すると、以下の画面が表示されます。



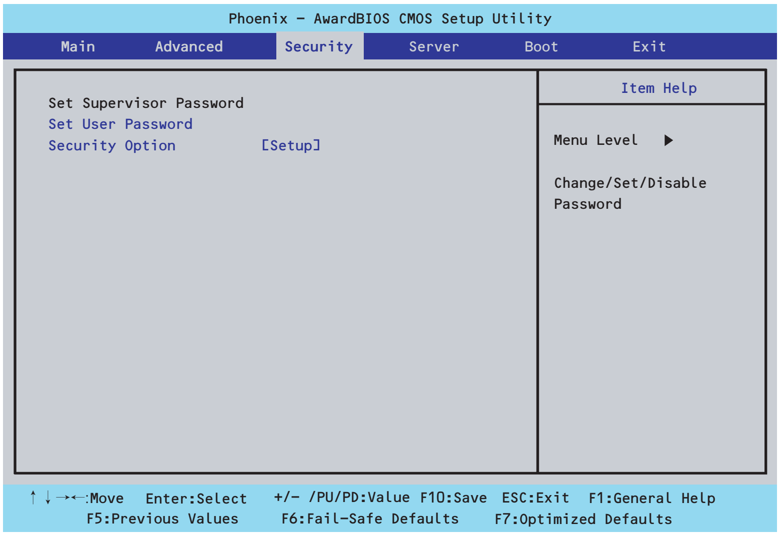
項目については次の表を参照してください。

項　目	パラメータ	説　明
Delay Prior to Thermal	40 Min 8 Min [16 Min] 32 Min	この項目の設定は変更しないでください。
Thermal Management	[Thermal Monitor 1] [Thermal Monitor 2	この項目の設定は変更しないでください。
TM2 Bus Ratio	表示のみ	CPUのクロック倍率を表示します。
TM2 Bus VID	表示のみ	CPUのコア電圧を表示します。
Execute Disable Bit	[Disabled] Enabled	「Enabled」に設定するとWindows OSのDEP機能が利用可能になります。

[　]: 出荷時の設定

Security

カーソルを「Security」の位置に移動させると、Securityメニューが表示されます。



Set Supervisor PasswordまたはSet User Passwordのどちらかで<Enter>キーを押すとパスワードの登録/変更画面が表示されます。
ここでパスワードの設定を行います。

重要

- **「User Password」は、「Supervisor Password」を設定していないと設定できません。**
- **OSのインストール前にパスワードを設定しないでください。**
- **パスワードを忘れてしまった場合は、お買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。**

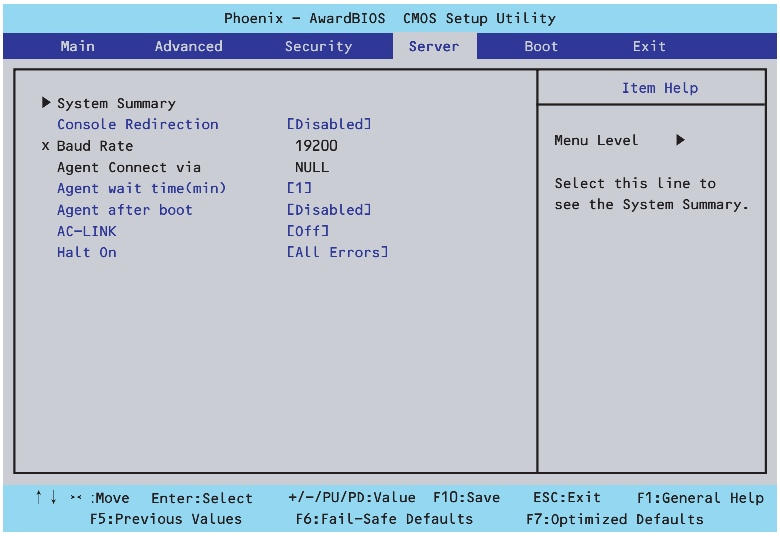
各項目については次の表を参照してください。

項　目	パラメータ	説　明
Set Supervisor Password	8文字までの英数字	Supervisor Passwordを設定します。
Set User Password	8文字までの英数字	User Passwordを設定します。
Security Option	[Setup] System	パスワードを入力する画面を設定します。「SETUP」を選択するとBIOSセットアップ起動時に「System」を選択するとシステム起動時とBIOSセットアップ起動時にパスワードの入力を要求します。

[　]: 出荷時の設定

Server

カーソルを「Server」の位置に移動させると、Serverメニューが表示されます。



Serverメニューで設定できる項目とその機能を示します。
項目については次の表を参照してください。

項　目	パラメータ	説　明
System Summary	―	System Summaryサブメニューを表示します。
Console Redirection	[Disabled] Enabled	Console Redirectionの有効/無効を設定します。
Baud Rate	9600 [19200] 38400 57600 11520	接続するハードウェアコンソールとのインタフェースに使用するボーレートを設定します。
Agent Connect via	NULL	表示のみです。
Agent wait time(min)	[1] 2 4 8	リモート接続時、キー入力を停止してから接続を切断するまでの時間を設定します。
Agent after boot	[Disabled] Enabled	POST通過後もConsole Redirection機能を有効にするかどうかを設定します。
AC-LINK	[Off] On Formaer-Sts	ACリンク機能を設定します。AC電源が再度供給されたときのシステムの電源の状態を設定します（下記参照）。
Halt On	[All Errors] No Errors All , But Keyboard	POST実行中、ハードウェアエラーが発生した際にPOSTを停止するかどうかを設定します。「All, But Keyboard」はKeyboardに関連したエラー以外が起きたときに停止します。

[　]: 出荷時の設定

「AC-Link」の設定と本装置のAC電源がOFFになってから再度電源が供給されたときの動作を次の表に示します。

AC電源OFFの前の状態	設　定		
	Off	Former-Sts	On
動作中	Off	On	On
停止中（DC電源もOffのとき）	Off	Off	On
強制電源OFF*	Off	Off	On

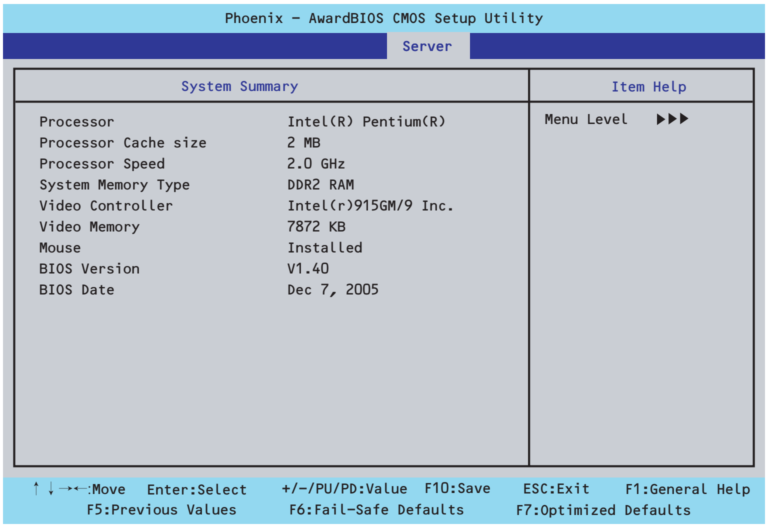
* POWERスイッチを4秒以上押し続ける操作です。強制的に電源をOFFにします。

重要

無停電電源装置(UPS)を利用して自動運転を行う場合は「AC-LINK」の設定を「On」にしてください。

System Summaryサブメニュー

Serverメニューで「System Summary」を選択し、<Enter>キーを押すと、以下の画面が表示されます。
(このメニューは表示のみで変更できません)

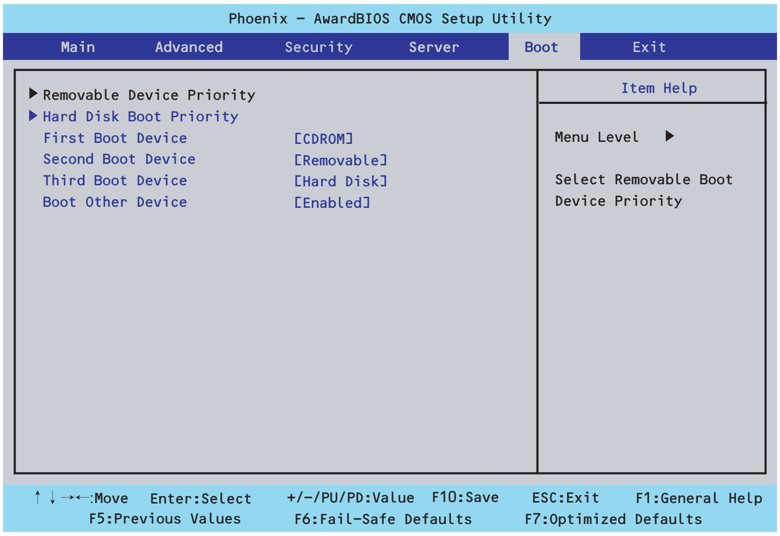


項目については次の表を参照してください。

項　目	パラメータ	説　明
Processor	—	搭載しているCPUを表示します。
Processor Cache size	—	搭載しているCPUのキャッシュサイズを表示します。
Processor Speed	—	搭載しているCPUのスピードを表示します。
System Memory Type	—	システムメモリの種類を表示します。
Video Controller	—	オンボードのVideoコントローラの名称を表示します。
Video Memory	—	オンボードのVideoメモリの使用量を表示します。
Mouse	—	マウスの実装状態を表示します。
BIOS Version	—	BIOSバージョンを表示します。
BIOS Date	—	BIOSの作成日を表示します。

Boot

カーソルを「Boot」の位置に移動させると、起動順位を設定するBootメニューが表示されます。Bootメニューのそれぞれの項目を選択後、<Enter>キーを押してサブメニューを表示させてから設定します。



システムは起動時にこのメニューで設定した順番に機器をサーチし、起動ソフトウェアを見つけるとそのソフトウェアで起動します。〈↑〉キー/〈↓〉キー、〈+〉キー/〈—〉キーでブートデバイスの優先順位を変更できます。各機器の位置へ〈↑〉キー/〈↓〉キーで移動させ、〈+〉キー/〈—〉キーで優先順位を変更できます。

Removable Device Priorityサブメニュー

システムに接続されているリムーバブルデバイスの中から起動させるデバイスを選択します。
<↑>キー/<↓>キーでデバイスを選択します。

項　目	説　明
システムに接続されているデバイスをリストアップします	リストから1つを選択します。

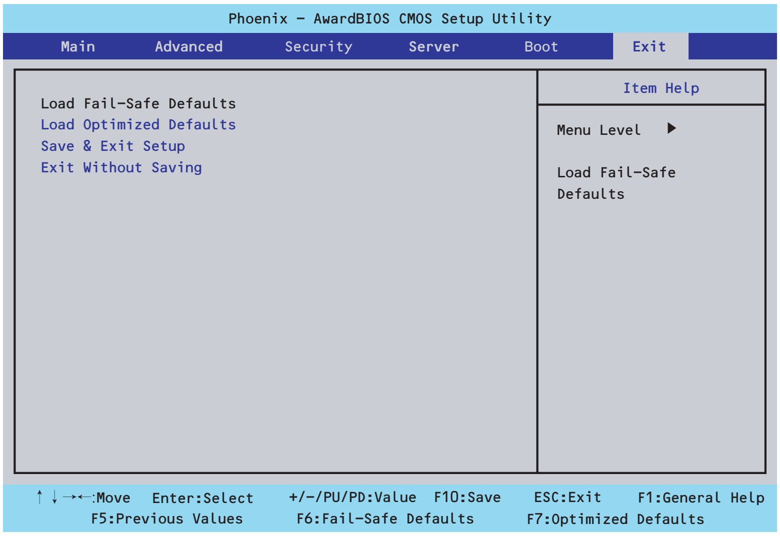
Hard Disk Boot Priorityサブメニュー

システムに接続されているハードディスクドライブの中から起動させるデバイスを選択します。
<↑>キー/<↓>キーでデバイスを選択します。

項　目	項　目
システムに接続されているデバイスをリストアップします	リストから1つを選択します。

Exit

カーソルを「Exit」の位置に移動させると、Exitメニューが表示されます。



このメニューの各オプションについて以下に説明します。

Load Fail-Safe Defaults

SETUPのすべての項目についてフェイルセーフ設定にするときに、この項目を選択します。
Load Fail-Safe Defaultsを選択すると、確認画面が表示されます。ここで、「Yes」を選択するとフェイルセーフ設定になり、Exitメニューに戻ります。「No」を選択するとExitメニューに戻ります。

Load Optimized Defaults

SETUPのすべての値をデフォルト値に戻したいときに、この項目を選択します。
Load Optimized Defaultsを選択すると、確認画面が表示されます。ここで、「Yes」を選択するとSETUPのすべての値をデフォルト値に戻してExitメニューに戻ります。「No」を選択するとExitメニューに戻ります。

Save & Exit Setup

新たに選択した内容をCMOSメモリ（不揮発性メモリ）内に保存してSETUPを終わらせる時に、この項目を選択します。Save &Exit Setupを選択すると、確認画面が表示されます。
ここで、「No」を選ぶと新たに選択した内容をCMOSメモリ（不揮発性メモリ）内に保存してSETUPを終了し、自動的にシステムを再起動します。

重要

モデルによっては、出荷時の設定とデフォルト値が異なる場合があります。この項で説明している設定一覧を参照して使用する環境に合わせた設定に直す必要があります。

Exit without Saving

新たに選択した内容をCMOSメモリ（不揮発性メモリ）内に保存しないでSETUPを終わらせたい時に、この項目を選択します。ここで、「No」を選択すると、変更した内容をCMOSメモリ内に保存しないでSETUPを終了し、自動的にシステムを再起動します。

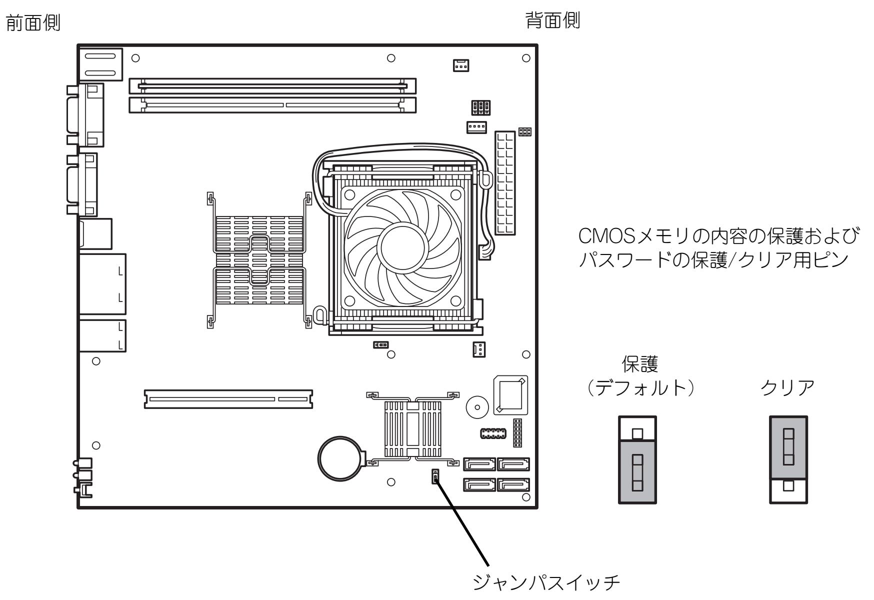
CMOSメモリ・パスワードのクリア

本装置が持つセットアップユーティリティ「SETUP」では、本装置内部のデータを第三者から保護するために独自のパスワードを設定することができます。
万一、パスワードを忘れてしまったときなどは、ここで説明する方法でパスワードをクリアすることができます。
また、本装置のCMOSメモリに保存されている内容のクリアも同時に行います。

重要
CMOS メモリの内容をクリアするとSETUP の設定内容がすべて出荷時の設定に戻ります。

パスワード/CMOSメモリのクリアはマザーボード上のコンフィグレーションジャンパスイッチを操作して行います。ジャンパスイッチは下図の位置にあります。

重要
その他のジャンパの設定は変更しないでください。本装置の故障や誤動作の原因となります。



⚠警告



装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。詳しくは、iiiページ以降の説明をご覧ください。

- 自分で分解・修理・改造はしない
- リチウムバッテリを取り外さない
- プラグを抜かずに取り扱わない

⚠注意



装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、iiiページ以降の説明をご覧ください。

- 一人で持ち上げない
- 中途半端に取り付けない
- カバーを外したまま取り付けない
- 指を挟まない
- 高温注意
- ラックが不安定な状態でデバイスをラックから引き出さない
- 複数台のデバイスをラックから引き出した状態にしない

1. 80ページを参照して準備をする。
2. 本体をラックから引き出す（22ページ参照）。
3. トップカバーを取り外す（82ページ参照）。
4. クリアしたい機能のジャンパスイッチの位置を確認する。
5. ジャンパスイッチの設定を変更する。

   前ページの図を参照してください。
6. 5秒ほど待って元の位置に戻す。
7. 取り外した部品を元に組み立てる。
8. 電源コードを接続して本体の電源をONにする。
9. <F1>キーを押してBIOS SETUPユーティリティを起動し、Exitメニューから「Load Optimized Defaults」を実行する。

割り込みライン

割り込みラインは、出荷時に次のように割り当てられています。オプションを増設するときなどに参考にしてください。

IRQ	周辺機器（コントローラ）	IRQ	周辺機器（コントローラ）
0	システムタイマ	11	PCI
1	キーボード	12	マウス
2	―	13	数値演算プロセッサ
3	―	14	プライマリIDE
4	COM 1シリアルポート	15	セカンダリIDE
5	PCI	16	USB、LAN1、VGA
6	フロッピーディスク	17	LAN2
7	PCI	18	USB
8	リアルタイムクロック	19	USB
9	ACPI Compliant System	20	LAN3
10	PCI	23	USB2.0

メ　モ